

キリシマ精工株式会社

サステナビリティ経営を通じて、 技術と人を育み、地域と未来につなぐ



キリシマ精工 株式会社

取締役会長
西重 保

従業員数

54名

設立

2006年

事業概要

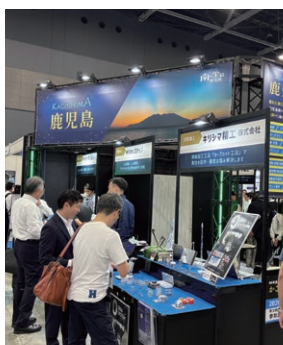
半導体・医療機器関連部品等の精密加工

技術への挑戦と「人とのつながり」が原点

キリシマ精工は、半導体や医療分野向けの精密加工を強みとする製造業です。創業当初から「できないとは言わず、まずはやってみる」という姿勢を大切に、難易度の高い加工や新しい分野にも挑戦を続けてきました。

会社を成長させてきた原点には「人とのつながり」があると考えています。鹿児島県や市の支援機関からの後押しを受けて展示会に出展し、そこで出会った人々との信頼関係を一つひとつ積み重ねていく中で、取引先や仲間が広がってきました。

サステナビリティ経営への取組みも、「特別なことをしよう」と始めたものではありません。会社をより良くし、人が集まり続ける企業であるためのごく自然な経営の延長として取り組んできたものです。



できることから始めたDXと「見える化」

業務改善の第一歩として取り組んだのが、DXによるペー

パーレス化と情報の見える化でした。以前は、工程管理や指示内容を紙や経験則に頼る場面も多く、会議でも感覚的な議論になりがちでした。そこで、**工程管理や指示書をデジタル化し、加工時間、不良内容、稼働率などを数値として把握できる環境を整備しました。**現在では、現場でもタブレットを使いながらリアルタイムでデータを確認できるようになっています。

これにより、「どこに課題があるのか」「何を改善すべきか」を、データにもとづいて話し合えるようになりました。また、改善の成果が目に見える形で現れることで、従業員自身が「自分たちの取組みが会社を良くしている」という実感を持てるようになっていきます。





自社の強みを活かした技術革新と人材育成

当社の最大の強みは、高精度な加工技術と、それを支える人材です。難削材や高精度部品など他社が敬遠しがちな分野にも積極的に挑戦し続けることで、「キリシマ精工でなければできない」と評価される技術力を築いてきました。

こうした技術力を維持・向上させるため、現場の声を経営に活かす仕組みも大切にしています。その一つが誰もが匿名で意見や提案を出せる「目安箱」です。業務改善のアイデアや職場環境への要望を吸い上げ、実現可能なものから積極的に取り入れています。

社内目安箱

📧 回答の表示欄を見る

職場環境の改善、業務効率化、悩み相談など、自由にご意見をお寄せください。
名前や所属は空欄でも送信（匿名投稿）できます。

所属（任意） 氏名（任意）

ご意見・ご提案内容*

こちらに内容を入力してください。職場をより良くするためのアイデアや、日頃気づいていることなど、何でも構いません。

📩 意見を送信する

さらに、技術力の向上や改善活動に貢献した社員を表彰する制度も設け、挑戦する姿勢を後押ししています。こうした取り組みが、人材育成と技術継承の好循環を生んでいます。

地域と未来世代へ、技術をつなぐ

地域との関わりも当社が大切にしているテーマです。工場見学の受け入れや、子ども向けのものづくり体験、学校からの依頼による見学対応などを通じて、ものづくりの魅力を次世代に伝えています。



将来的には、自社技術を活かした製品開発にも挑戦し、社会に新たな価値を提供していきたいと考えています。

「技術を磨き、人を育て、地域とともに歩むことが、結果として持続可能な企業になる」。その考え方が、当社のサステナビリティ経営の根幹となっています。

サステナビリティ経営は、何か特別なことを完璧にやる必要はありません。できることから挑戦し、人とのつながりに感謝する。その積み重ねが、会社を強くし、人を育て、未来へとつながっていくのだと思います。

ここがポイント！

- 技術力という自社の強みを軸に、サステナビリティ経営を展開している点
- DXや見える化を「できるところから」着実に進めている点
- 人材育成や地域との関わりを将来志向で捉えている点